

JICAとEIB（欧州投資銀行）との間での協力覚書(MoU)の締結

**「持続可能な連結性及び質の高いインフラに関する日EUパートナーシップ」の下での
日EU協力の一環として、
日本のJICAとEUのEIB*との間で協力覚書（MoU）を締結。**

背景

- EUは、昨年9月に**欧州・アジア連結性戦略**を発表。同戦略は、我が国の推進する「自由で開かれたインド太平洋」（FOIP）や「質の高いインフラ」と共通する理念や原則を含み、これらの共通点を軸に日EU協力が進展。
- 本年2月の日EU・EPAの発効、日EU・SPAの適用開始を経て、日EU関係はかつてなく緊密化。
- 「持続可能な連結性及び質の高いインフラ」をSPAの下での優先協力事項に決定。

意義

- 「持続可能な連結性及び質の高いインフラに関する日EUパートナーシップ」に資する、開発分野における日EU協力の具現化。
- 途上国における**莫大な開発資金需要**に対する日EU民間資金の動員。
- 資金と実績を有するEIBと連携することにより、日本とEUの企業による投資を促進。

覚書概要

- 途上国における**協調投融資**（「質の高いインフラ投資に関するG20原則」等にも沿うもの）。
- 技術協力における**連携、現地事務所間を通じた連携**。
- 9月26日（ブリュッセル時間）にブリュッセルにて署名。

*EIB（欧州投資銀行）は、欧州域内外における経済の統合とバランスのとれた発展に寄与するプロジェクト等に対し、長期ファイナンス及び技術協力を供与する欧州連合（EU）の公的金融機関。1958年創設。総裁は、ヴェルナー・ホイヤー（Werner Hoyer）氏。国際金融機関として、借入額、貸出額は世界最大。